



百条委員会終了、 証人3名を告発へ

9月11日ビッグレスキューかながわ(平成28年度神奈川県・横須賀市合同総合防災訓練)が実施されました。
横須賀市議会においても、5月に「災害時における議会のあり方検討会」を設置し、災害時に備え、議員・議会がどうあるべきか検討しています。

平成28年第3回定例会が9月2日から10月14日の43日間で開催されました。この定例会の主な議題は、平成27年度一般会計、特別会計及び企業会計の歳入歳出決算議案10件に関する審議であり、いずれも適正であったとして認定・可決しました。その他補正予算等12件の議案を可決しました。

また、請願第2号を受けて、東京電力福島第一原発事故避難者が今のまま住み続けられるよう、住宅支援を継続、拡充させることを求める意見書を全会一致で可決し、国に提出しました。請願第3号「市史編さん係の存続及び収集資料の保存・公開について」は審査の結果、賛成多数で採択し、それに関連し、決議案第2号「横須賀の誇るべき近代化歴史資料を生かす歴史資料館の早期検討を求める決議について」を全会一致で可決しました。

なお、横須賀市観光立市推進特別委員長から最終報告を行い、本定例会をもって審査を終了しました。また、百条委員会の委員長から最終報告がされ(下記参照)、証人3名の告発については賛成多数で可決しました。

第3回定例会 一般質問

一見 英一 議員 公明党

B型肝炎ワクチンの助成期間延長について

問 今年10月からB型肝炎ワクチンの定期接種化が始まる。4月から7月生まれの子は公費助成期間が他の子より4カ月短い。公平性の面から初年度の定期接種対象者に限り公費助成期間を最大4カ月延長すべきではないか。

答 予防接種をしっかりと進めていくことは市の重要な責務である。提案のあった公費助成期間の延長に関し検討していきたい。

問 浦賀ドックや奉行所の両跡地の活用に関し、市長がリーダーシップを

答 スポーツ行政を発展させるために組織改革が必要ではないか。スポーツに関する政

組織改革と地域資源の有効活用について

加藤 眞道 議員 市政同友会

問 私に本社に出向き、申し入れを行ってほしい。

答 博物館、図書館それぞれで活用するのが一番適当だと思う。

取って住友重機械工業株式会社との交渉に臨むべきではないか。

100条委員会最終報告

「吉田市長の不透明な市政運営に関する調査特別委員会」(100条委員会)は付議事件の調査を終了し、10月14日の本会議において最終報告を行い、了承されました。本委員会の付議事件は①日本丸招致問題②職員採用問題③BBQパーク問題、の3件で構成されました。

このうち①及び②の調査結果は、既刊の「市議会だより」に掲載しましたので省略し、ここでは③BBQパーク問題の調査結果について報告します。BBQ問題は、昨年夏季に、「シティーサポートよこすか」(市の全額出資法人)が、ポートマーケット(市港湾施設)において飲食施設BBQパークを営業した際に建築基準法違反(コンテナハウス使用)が発覚し、BBQ委託事業者と市長が懇意の関係であることから、BBQ営業に市長の関与が疑われるため、調査に至りました。調査事項の総括として、まず証言等から、BBQパークは、実態として市長と懇意の事業者が営業しており、BBQ事業者の選定に市長の関与が疑われると判断しました。そして、

公人たるトップの公私混同の政治姿勢が、不透明な関与につながったものと総括しました。また、このBBQパーク事業は、港湾施設使用条例で禁止される、港湾用地を転貸(又貸し)の状態でも営業を開始したことから、条例違反を回避するために、意図的に契約締結日を操作したことなどを確認しました。その行為は、経営実態とかけ離れた業務体裁を取り繕うための欺瞞行為であると判断しました。そして、証人喚問で、事実と異なる証言があったことを認定し、吉田市長他2名を地方自治法違反(偽証)で告発すべきものと、賛成多数で決しました。次に、とりまとめとして、日本丸招致問題の調査時にも偽証が認められることから、吉田市長を同じく告発すべきものと決しました。

最後に、一連の事件は、公明性・公正性を欠き、市民の信頼を大きく損ねるもので、市長はじめ執行部は、このことを自覚して、問題点の指摘を真摯に受け止め、市政への信頼回復に努められることを願うものです。

(委員長 木下憲司)

(注)ここに掲載する質問記事は、本会議場における発言に基づくものです。

「1面からの続き」

ましい。組織改正は、最
短で平成29年4月を目途
に検討している。

問 新たな地域資源にな
るベイスターズ(2軍)
に対し、チーム名変更の
要請が必要ではないか。

答 機会を捉えて要望し
ていく。

問 取り壊しとなる公共
施設も、映画やドラマな
り

大村 洋子 議員 日本共産党

透明性が大切ー完全給食&ごみ処理施設建設

問 全員喫食の完全給食
の議論や決定のプロセス
は透明性の担保が大事で
は。

答 学校現場や保護者等
多くの方が注目してい
る。透明性は担保すべきだ。

答 会議資料や議事録
はホームページで公開
し、ご意見は公式の場
で報告する。

問 教職員の皆さんへ経
過報告等情報をしっかり
伝えるべきと思うが。

答 教 情報をしっかりと
共有し、現場の声を受け

永井 真人 議員 無所属みらい

浦賀奉行所跡地について

問 浦賀奉行所跡地につ
いて住友重機械工業株式
会社社長とのトップ会談
を実現し、地域住民の要
望を直接伝えるべきと思
うがいかがか。

答 提案の通り早期に住
友重機械工業株式会社の
本社を訪問し、地域の皆
様の意向について申し入
れを行いたい。



浦賀奉行所跡地を示す掲示板

どの撮影に使ってもら
う等の有効活用を考えるべ
きではないか。

答 是非検討していきたい。
市内に立地している
企業・研究所を活用した
新たなコミュニケーションの
設立が必要ではないか。

答 研究者レベルの交流
を深め、新たな技術開発
あるいは産業が起きる
きっかけに繋げたい。

大村 洋子 議員 日本共産党

ごみ処理施設建設

問 ごみ処理施設建設の
総事業費は29.7億円。
重要事項を決めている
「対策協議会」の議論は
本来市民に開かれてしか
るべきでは。

答 議事録は作成され公
開もされている。

問 議事録は簡単に読め
ない。この行政センター
にしかなく門外不出。もっ
と透明であるべき。

答 今の状態からさらに
何かをお願いすることは
考えにくい。

横須賀 議員 無所属みらい

浦賀奉行所跡地について

問 浦賀奉行所跡地につ
いて住友重機械工業株式
会社社長とのトップ会談
を実現し、地域住民の要
望を直接伝えるべきと思
うがいかがか。

答 提案の通り早期に住
友重機械工業株式会社の
本社を訪問し、地域の皆
様の意向について申し入
れを行いたい。

ムに出席すべきであると
思うがいかがか。

関沢 敏行 議員 公明党

中学校完全給食の実現に向けて

問 中学校完全給食実施
に踏み切ったが財源の見
通しを問う。

答 厳しい財政状況は大
きく変わっていないが、
文科省からの補助金のほ
か、追加交付を得られた
再編交付金などの有利な
財源を見せたい。

問 全市立学校へ緊急地
震速報自動放送システム
を導入してはどうか。

答 緊急地震速報を校内
放送することにより、児
童・生徒が机の下に潜る
こと

答 ぜひ出席したい。

井口 一彦 議員 自由民主党

大地震発生時のエネルギー確保について

問 中学校給食実施時に
新施設整備があれば、L
Pガスを導入すべきでは
ないか。

答 整備を行う場合は災
害時を考慮し、LPガス
導入も含め熱源供給体制
を検討する。

問 施設分野別実施計画
に災害時のLPガスの有
効性を記載すべきでは
ないか。

答 同計画の性格上、具
体的記載は難しい。
施設整備時に市と関
係団体が意思疎通を図る
必要があるのでは。

井坂 直 議員 日本共産党

環境行政・原子力災害への取り組みについて

問 本市の平均気温は上
昇している。地球温暖化
の影響が出ている可能性
があるのでは。

答 本市の平均気温は上
昇している。地球温暖化
の影響が出ている可能性
があるのでは。

答 気温の上昇、台風の
襲来、豪雨発生など異常
気象は顕著だ。地球温暖
化の影響の可能性はある。

南 まさみ 議員 自由民主党

産後ケア事業の拡大について

問 震災時避難所運営マ
ニュアル未作成校に対す
る取り組みは。

答 マニュアル整備は欠
かすことのできないもの
中心となっていただけ
ような方に働きかけてい
く。

問 災害時に貢献できる
中学生の育成を行って
はどうか。

答 地域の防災力向上の
観点からも大切なこと
である。

石炭火力を想定してお
らず、内容的には整合性は
とれていない。

藤野 英明 議員 無会派

学校内に埋設された放射能除染土の早期移設

問 東日本大震災から5
年経った今も、市内43校
の敷地内に放射能汚染さ
れた除染土が7トン埋設
されたまま。市長は、
学校内での埋設は仮措置
との約束を守り、子ども
と保護者に安心を提供す
るために早急に搬出すべ
きだ。

下町浄化センターでは
高濃度に放射能汚染され
た下水道汚泥焼却灰を最
大時1400トン、敷地
内に設置したコンテナで
保管してきた。しかし現
在では、全て搬出された。
かねてからの提案どお
り、状況が変化した以上
は学校内から下町浄化セ
ンターのコンテナへ早急
に移設すべきだ。

問 空母停泊位置から1
キロ以内にと
どまる想定。
事故が起きても誰一
人被ばくしない計画に責
任持って取り組むべきだ。
答 難しいが頑張りたい。

問 産後の母体健康診査
費用を補助する制度を導
入すべきではないか。
答 産後の母体健康診査
の必要性は高いので、何
らかの形で強化してい
く。

松岡 和行 議員 自由民主党

津波防災対策について

問 津波浸水想定図にお
いて想定する津波が発生
した場合、地域医療救護
所の多くが開設されない
などの事態により、本市
の災害時医療計画は役に
立たないと思うが、考え
はどうか。

答 被害状況を確認し、
柔軟に対応していくた
め、全く役に立たないと
は思っていないが、津波
被害も想定し、地域医療
救護所の代替施設を検討
している。

本石 篤志 議員 公明党

情報セキュリティと学校情報の発信力の向上

問 情報漏えい事故の発
生状況と原因及び防止対
策として情報セキュリティ
職員研修の内容に工夫を
凝らすべきでは。

問 昨年度の事故発生件
数は24件で、原因は人為
的ミス。職員研修方法の
見直しを行ってほしい。

問 市民のプライバシーに
配慮し、福祉部の相談
窓口個別ブースを設置
してはどうか。

答 全体の状況を判断
し、設置に向けて検討を
行いたい。

答 下町浄化センター周
辺の住民の理解が前提だ
が、移設に向けて教育委
員会と下水道局で協議
を開始した。

本石 篤志 議員 公明党

情報セキュリティと学校情報の発信力の向上

問 若い世代に民生委員
の役割の重要性を知つて
もらうため、県立保健福
祉大生を対象に、民生委
員を体験できるインタ
ーシップを実施すべき
では。

答 大学に対して働きか
けを行ってほしい。

問 学校ホームページの
発信力向上のため、新し
い更新方法に変更すべ
きでは。

答 教員の誰もが情報
を更新できるシステムを
検討したい。



※このほかに、小室卓重議員、小林伸行議員、ねぎしかずこ議員、青木哲正議員、小幡沙央里議員が一般質問を行いました。(紙面の都合上、質問記事は議員一人あたり年2回までの掲載となります。)

予算決算常任委員会

平成27年度予算の使い道を審査

今定例会は補正予算、決算議案が提出され、各分科会で予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているか詳細な審査を行いました。

予算決算常任委員会は、9月15日、23日及び10月12日に会議を開き、9月15日の委員会では、一般会計、水道事業会計の補正予算とその他条例改正の5議案について各分科会委員長からの審査経過報告を受け、4件は全会一致で、1件は賛成多数で原案どおり可決し

ました。

9月23日の委員会では、会計管理者から平成27年度決算に対する総括説明を、代表監査委員から審査意見を聴取しました。委員からは、市民病院短期貸付金安全性確保のための協定に規定すべき記述内容、予算額と決算額との乖離をなくすための取り組みを求める理由、経常収支比率から見た物件費への影響についての質疑がありました。

10月12日の委員会では、各分科

生活環境常任委員会(分科会)

地域運営協議会の交付金増額に向けて

平成28年度の水道事業会計補正予算議案は、半原水源系統廃止に伴う管路用地の売却について、地元自治体である愛川町との協議が整ったことを受け、所要の補正を行うもので、売却価格の算出方法や土地評価額の考え方、これまで同系統の維持に要した費用、残る本市所有地の売却に向けた見込みなどについて質疑がありました。

また、常任委員会では、義務付けられた消火設備等の設置がない違反対象を公表する火災予防条例の改正等、2議案を審査しました。



廃止が決定している半原水源

交付金を増額する改正案が示され、委員からは、交付決定の審査基準、活動報告の精査方法、協議会未設置地区への働きかけ等について質疑、意見がありました。また、日本赤十字社神奈川県支部による災害救援物資倉庫建設に関しては、倉庫の管理体制、市民周知の方法、災害時における備蓄品提供の優先順位等について質疑がありました。

平成27年度の一般会計歳入歳出決算の審査では、スパー防犯灯の維持管理費への国庫支出金充当に対する見解、子どもに対するごみ減量化・資源化の必要性、粗大ごみ収集手数料の未納付を減らすための方策、小動物死体処理事業の採算性を踏まえた今後のあり方などについて質疑がありました。

(委員長 杉田 惺)

会委員長から平成27年度決算議案の審査経過報告を受け、総括質疑を実施しました。委員からは、こ

ども政策アドバイザー配置など魅力の発信のみではなく政策の強化を進める必要性、市民病院への短期貸し付けの廃止あるいは貸付金に対する担保の確保に向けた改善策をとる必要性について質疑があり、採決の結果、議案10件のうち4件は全会一致で、5件は賛成多数で認定、1件は賛成多数で可決及び認定しました。

(委員長 はまのまこと)

教育福祉常任委員会(分科会)

民生委員定数改正、子育て支援の充実などを審査

平成28年度の補正予算に関わる審査では、民生委員の担い手不足の中で定数を増員する根拠、保育業務支援システムで管理する具体的な業務内容、保育事業所整備による待機児童及び保留児童解消の見込みなどについて質疑がありました。

また、常任委員会では、新たな学期制実施までの検討期間に対する懸念、タブレット型パソコンの具体的な活用形態などについて質疑があり、採決の結果、付託された議案は全て全会一致で可決すべきものと決定しました。

陳情については、2件の審査を行い、いずれも委員の意見が一致せず審査を終了しました。

会期後半の分科会では、平成27年度の各会計の決算議案について部局別に審査を行い、中央斎場使用料有料化による効果、エンディ

(委員長 関沢敏行)

総務常任委員会(分科会)

ウインドサーフィン世界大会 津久井浜で開催

平成28年度一般会計補正予算の審査において、来年5月に(仮称)ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会を津久井浜で開催するために、ANA、京浜急行電鉄(株)、NPO法人日本ウインドサーフィン協会、神奈川県、横須賀市で構成する実行委員会への負担金1千万円を計上する提案がありました。

委員からは、大会を継続的に開

催できる可能性や、ウインドサーフィンの魅力をより多くの人に知ってもらう工夫の必要性などの建設的な意見のほか、会場周辺地域の協力体制の構築が重要であるとの指摘がありました。

なお、この大会の開催には、総額で7千万円程度が見込まれており、実行委員会は新たなスポンサーを募り必要額を確保する予定です。

平成27年度一般会計歳入歳出決算の審査では、都市イメージ創造発信事業におけるプロモーションを

委託する場合の事業者選定方法と適材適所の人材配置を行う必要性、政府関係機関の地方移転問題に対する要望活動の内容、公用自動車を総務部で一元管理する必要性、ふるさと納税の控除額による市税収入への影響、基地の再編関連特別事業基金の子育て施策への還元状況、駅前での観光案内を強化する必要性、各種雇用促進事業が就職に結びついた実績についてなど、多くの質疑が交わされました。

(委員長 田辺昭人)



ウインドサーフィンの大会の様子

都市整備常任委員会(分科会)

日本遺産構成文化財である猿島の管理などで議論

平成28年度一般会計補正予算の審査において、市内環状線街路改良事業の用地取得に伴い、用地取得費、事務費及び利子相当額について債務負担行為を設定する提案があり、同事業における用地買収の完了見込時期、同事業において土地開発公社が先行取得した用地の買い戻し方法についてなどの質疑が交わされました。

会期後半では、平成27年度一般会計歳入歳出決算の審査を行い、歴史遺産の維持管理に対する猿島公園入園料の充当の考え方、公園施設予約において当日の無断キャンセル者に対しペナルティを課することを検討する必要性、長

る必要性、長



日本遺産の構成文化財である猿島砲台跡

井海の手公園運営事業におけるBOT施設の買い取り金額を増加した理由、谷戸地域住環境対策事業において低密度化を図る地域と利活用を図る地域でめり張りをつけて事業を行う必要性、代執行による老朽危険家屋解体工事費に係る受益者負担の必要性、観光立市推進における道路の景観美化の必要性、市内事業者の健全育成を促すために年間を通して工事の発注を平準化する必要性、新港埠頭における施設利用者の満足度の維持・向上に向けた施策の必要性などについて質疑が交わされました。

また、東京電力福島第一原発事故避難者に対する住宅無償提供の継続を求める意見書の提出を趣旨とした請願の審査では、全会一致で採択し、意見書を提出しました。

(委員長 永井真人)

平成28年第3回定例会

審議結果

○は賛成、×は反対

Table with columns for 議案番号, 賛否が分かれた議案, 会派 (自由民主党, 公明党, 無所属みらい, 市政同友会, 研政, 日本共産党), and 無会派 (青木哲正, 上地克明, 小室卓重, 藤野英明). Rows list various budget and financial items.

*その他議案15件については、全会一致で可決、認定または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。
*議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

【会派所属議員名】

自由民主党 木下憲司 田辺昭人 青木秀介 松岡和行 大野忠之 渡辺光一 南まさみ 井口一彦
公明党 板橋 衛(議長) 鈴木真智子 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一
無所属みらい はまのまさひろ 矢島真知子 永井真人 嘉山淳平 葉山 直 小幡沙央里 山本けんじゅ
市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤眞道 西郷宗範 杉田 惺 山口道夫
研政 角井 基 伊関功滋 小林伸行 高橋英昭 長谷川昇
日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

意見書・決議

Table with columns 件名 and 結果. Items include: 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修に係る給付の見直しに関する意見書の提出について (可決), 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について (可決), etc.

請願・陳情

Table with columns 件名 and 結果. Items include: 東京電力福島第一原発事故避難者に対する住宅無償提供の継続を求める意見書の提出について (採択), 市史編さん係の存続及び収集資料の保存・公開について (採択), etc.

*審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

観光を横須賀市の基幹産業に!

観光立市推進特別委員会は、本市の抱える様々な課題に「観光を横須賀市の基幹産業に!」との熱い思いを持って進めてまいりました。委員会として最後に(仮称)観光立市推進アクションプランの策定について提言をまとめ、審査を終了いたしました。

提言内容は、アクションプランに位置付ける事業は、数値目標を設定し、効果の検証・評価を行うなど、効果的な事業実施を図ること。次に、観光は、流行りや社会情勢などに影響を受けやすく、めまぐるしい変化や新たな課題に敏感に対応できるような柔軟性を確保すること。最後に、本市が行う事業や管理する施設等のみならず、全ての歴史・場所・施設・ものなどを観光の視点で積極的に活用すること、の3点です。

これからは、観光立市推進基本計画や今年中に策定予定のアクションプランを中心に観光行政に力を注いでいくこととなります。(委員長 土田弘之宣)

中学校完全給食の導入に向けて

今年7月の総合教育会議において中学校完全給食の導入が決定され、現在、給食を提供するための具体的な検討が始まりました。議会もこれまで中学校給食の導入を求めてきましたが、この度、中学校完全給食実施等検討特別委員会を設置し、さまざまな課題を多角的、集中的に議論し、おいしい給食の早期実現を目指してまいります。(委員長 鈴木真智子)

第4回定例会のお知らせ

Table with columns 開催日 and 会議名. Dates range from 11月28日 to 12月14日. Meetings include 議会運営, 本会議, 予算決算常任, etc.

*時間の記載がないものは10時開会です
*特別委員会については、日程が追加される場合があります。

通年議会を導入します

横須賀市議会では、来年5月から通年議会導入の方針を決定しました。通年議会は、ほぼ1年を通じて会期とし、必要に応じて本会議や委員会を開くことができます。急を要する案件が生じた場合の迅速な対応など、議会の活動が常時可能となり、議会の機能強化が図られます。通年議会の導入は、議会制度検討会で協議を重ねてきました。これから条例改正などの必要な手続きを進めていきます。

多くの皆様に市議会の活動や情報をお伝えできるように、「伝わりやすい表現を」との思いを込めて、紙面構成に議論を重ねました。皆様にご愛読いただければ編集委員一同うれしく思います。



編集後記